

【南海トラフ地震等に関する緊急時の対応】

(1) 臨時情報が発表された場合

ア 南海トラフ地震臨時情報（調査中）及び南海トラフ地震情報（巨大地震注意）が発表された場合は、原則として通常どおりの日程で授業を行う。校外活動については、発表後に出発する場合は一時見合わせ、既に校外で活動中の場合は、いつでも帰校できるように準備する。

イ 南海トラフ地震臨時情報（巨大地震警戒）が発表された場合は、原則として通常どおりの日程で授業を行われ、授業終了後に速やかな帰宅となる。校外活動については、発表後に出発する場合は延期（中止）、既に校外で活動中の場合は、速やかに帰校する。

ウ 南海トラフ地震臨時情報（調査終了）の場合、通常どおりの日程で授業及び校外活動が行われる。

(2) 大規模地震が発生した場合の授業の再開

ア 通学路の安全確保、交通機関の再開を待ち、学校と連絡をとり状況を確認したうえで登校する。

イ 通学路の安全が確保できない時や、交通機関の途絶等により登校が困難な時は登校しなくてよい。その場合も、必ず学校と連絡をとる。

(3) 激甚災害（震度7をこえる）時の災害用伝言ダイヤルの活用

激甚災害が起きたとき、学校からの連絡・個人の安否確認は、「災害用伝言ダイヤル171」を利用する。

一般加入電話、公衆電話、携帯電話、PHSから次の手順で災害伝言ダイヤルを利用できる。

ア 学校からの伝言メッセージを聞く方法

171	→	2	→	(0565)28-8800	→	再生
ガイダンス		ガイダンス				ガイダンス

〈例〉豊野高校です。学校は、しばらく休校とします。学校から連絡があるまで、自宅で待機しててください。

- ① 「171」をダイヤルするとガイダンスが流れる。
- ② 「2」をダイヤルするとガイダンスが流れる。
- ③ 学校の電話番号（0565-28-8800）をダイヤルするとガイダンスが流れる。
- ④ 災害伝言ダイヤルセンターから豊野高校からのメッセージが再生されるので、指示に従って行動する。

イ 個人の安否を伝言ダイヤルに録音する方法

171	→	1	→	自宅の電話番号	→	伝言を入れる
ガイダンス		ガイダンス		(市外局番から)		ガイダンス

〈例〉1年1組の豊野太郎の母です。太郎も家族も無事ですが、自宅が倒壊し、現在〇〇小学校に避難しています。

- ① 「171」をダイヤルするとガイダンスが流れる。
- ② 「1」をダイヤルするとガイダンスが流れる。
- ③ 自宅の電話番号（市外局番から）をダイヤルするとガイダンスが流れる。
- ④ 伝言を30秒以内で録音する。

災害用伝言ダイヤルは、30秒以内の伝言を10件まで録音することができる。個人の連絡を学校の電話番号に録音すると、学校からの連絡が抹消してしまうので、個人の録音はしないこと。

(4) 安全確保について

緊急事態の時に、一番大切なことは生徒の安全確認である。そのために、家庭と学校の両者が報告・連絡・相談を密にする。